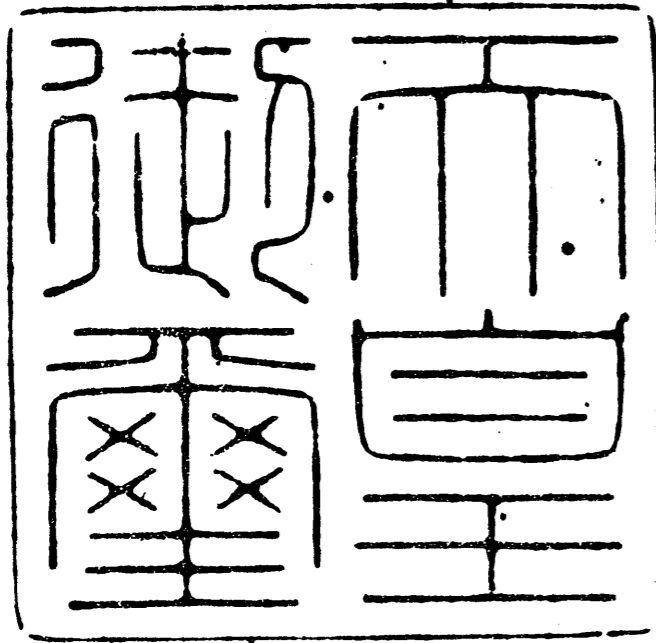


法律第二十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル勞働者年金
保險特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

裕仁



明

昭和十七年二月十九日

内閣總理大臣 東條英機
厚生大臣 小泉親吉
大藏大臣 賀屋興宣

法律第二十九號

勞働者年金保險特別會計法

- 第一條 勞働者年金保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ
- 第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生ズル收入及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險給付費、福祉施設費、事業取扱費、營繕費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス
- 第三條 本會計ニ於ケル歲入總額ノ歲出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツベシ
本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ
- 第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入ルベシ
- 第五條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ

得

第六條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第七條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ昭和十七年度ヨリ之ヲ施行ス

郵便年金特別會計ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ労働者年金保險法第七十五條ノ規定ニ基ク勅令ノ適用ニ關シ必要アル場合ニ於テ本會計ニ繰入金ヲ爲スコトヲ得